

令和5年度松本深志高等学校同窓会

安曇野支部総会



令和5年4月29日

穂高神社 参集殿

令和5年度松本深志高等学校同窓会安曇野支部定時総会

期日 令和5年4月29日(土) 会場：穂高神社 参集殿

【受付】 14:30～15:00

【特別講演会】 15:00～16:20

講師 山越 言 氏 (深志40回卒)
演題 アフリカで人と森と動物の関係を問い直す

【定時総会】 16:30～17:30

総会式次

開会のことば

会長あいさつ

深志同窓会長あいさつ

- 議事
- (1) 令和4年度事業報告
 - (2) 令和4年度会計報告及び会計監査報告
 - (3) 令和5年度事業計画(案)
 - (4) 定款の改正
 - (5) 役員改選
 - (6) その他

閉会の言葉

【懇親会】 17:40～19:30

懇親会式次

開会のことば

開宴 乾杯 スピーチ 校歌

中締

閉会のことば

松本深志高等学校同窓会安曇野支部 令和4年度事業報告（4月～3月）

- 4月 1日（金） 第1回役員会議
令和4年度総会の案内を発送
- 4月24日（日） 令和4年度定時総会、講演会、ほりで一ゆ～四季の郷（創立14周年）
講演会講師 林 直哉 氏（深志28回卒）
演題「周回遅れのトップランナー深志を残し、伝えるために」
- 6月 7日（火） 第2回役員会 次年度の総会講師の選定
- 9月 6日（火） 第3回役員会議 次年度の総会会場を参集殿に決定
- 9月17日（土） 深志同窓会 定時総会に出席
特別講演 場々洋介氏 「安曇野の屋敷林」
- 10月 3日（月） 三郷会 マレットゴルフ
- 11月27日（日） 豊科会総会 講演 場々洋介氏「安曇野の屋敷林」
- 11月29日（土） 第4回役員会
- 2月 8日（月） 第5回役員会
- 2月19日（日） 明科会 講演会：安曇野の食と暮らし 講師：巻山圭一氏（深志 32）
懇親会
- 3月 7日（火） 第6回役員会 総会の案内発送
- 3月25日（土） 三郷会 総会 講演会：「知ってしまった責任」－使命感が突き動かす
減災への願－ 講師： 林 直哉（深志28） 食事会

-
- 4月 1日（土） 安曇野支部 ホームページ開設
- 4月 7日（金） 第1回役員会
- 4月29日（土） 令和4年度定時総会、講演会、懇親会（創立15周年）
講演会講師 山越 言 氏（深志40 回卒）
演題 アフリカで人と森と動物の関係を問い直す

松本深志高等学校同窓会安曇野支部 令和5年度事業計画（案）

- ・定時総会・特別講演会・懇親会の開催（同上）
- ・分会活動の推進と分会間の交流促進
- ・深志同窓会との連帯 母校の緊急時における連絡協力員について
- ・令和6年度総会 4月 21 日（日）穂高神社 参集殿
講師：未定
- ・安曇野支部ホームページの管理



<https://fukashiazumino.fc2.page/>

令和4年度深志同窓会安曇野支部収支決算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

4年度会計 森山幸一

収入合計 800,362円支出合計 345,378円

繰越残高 454,984円

(収入の部)

(単位：円)

項目	金額	摘要
繰越金	524,360	
預金利息	2	
会員からの賛助金	256,000	12,000円×1名 10,000円×1名 2,000円×117名
ご祝儀	20,000	同窓会長、学校長より
合計	800,362	

(支出の部)

(単位：円)

項目	金額	摘要
会議室使用料	4,360	役員会
分会活動費	50,000	明科・豊科・堀金・穂高・三郷の5分会
郵送代	71,426	総会開催案内(4.5年度分)等
総会開催費用	129,360	ほりで一ゆ～四季の郷、写真代
講演会講師謝礼	30,000	
弔電	4,521	故矢野口氏、故平林氏、故柴野氏
事務費・手数料等	23,091	コピー・コピー用紙・振込手数料等
郵便葉書代	31,500	
振替用紙印字サービス	1,120	
合計	345,378	

上記令和4年度会計について、関係書類などを監査した結果、正確に処理されており、適正であると認めます。

令和5年4月6日

監事

望月皎三 印

監事

印

松本深志高等学校同窓会安曇野支部会則 (案)

- 第1条 本会は松本深志高等学校同窓会安曇野支部（略称安曇野松中深志同窓会）と称し、事務局を幹事宅に置く。
- 第2条 本会は会員相互の親睦をはかり、併せて母校の発展と地域への貢献に資することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行う。
- (1) 第10条に定める定例会
 - (2) その他本会の目的を達成するため適当な事業
- 第4条 本会の会員は深志同窓会会員のうち安曇野市在住者および役員会で認める者とする。
- 第5条 本会に次の役員をおく。
- | | |
|------|-------------|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 5名（各分会から1名） |
| 幹事長 | 1名 |
| 副幹事長 | 若干名 |
| 幹事 | 若干名 |
| 会計 | 1名 |
| 監事 | 2名 |
- 第6条 本会の役員は次の如く定める。
- (1) 会長、副会長および監事は任期満了の総会において、会員の中から選出する。
 - (2) 幹事長、副幹事長、幹事および会計は会長が委嘱する。
- 第7条 役員の任期は2年とする。但し再任は妨げない。
- 2 補欠によって就任した者は前任者の任期を継承する。
- 第8条 本会は会員の中から役員会の推挙により顧問を置くことができる。
- 第9条 役員の任務は次のとおりとする。
- (1) 会長は本会を代表し、会務を総理する。
 - (2) 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代理する。
 - (3) 幹事長・副幹事長および幹事は会務を分掌する。
 - (4) 会計は会計事務を分掌する。
 - (5) 監事は会計を監査する。
- 第10条 本会の会議は定時総会、臨時総会および役員会とする。
- 2 総会は会員をもって構成する。
 - 3 定時総会は毎年開催し、臨時総会は必要ある場合役員会の決定を経て開催する。
 - 4 役員会は必要のある都度これを開催する。
- 第11条 会議は会長が招集してその議長となる。
- 第12条 本会の会計は賛助会費、寄付金およびその他の収入をもってこれにあてる。
- 第13条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- 第14条 本会は分会を置くことができる。
- この会則は平成21年4月26日から施行する。
- この会則は平成23年4月24日から一部改正施行する。
- この会則は平成25年4月21日から一部改正施行する。
- この会則は平成28年4月24日から一部改正施行する。

深志同窓会安曇野支部 役員 (令和 5.6 年度)

役 職	氏 名	卒 業 回 数	分 会	
顧 問	小平 信夫	深志 3回	堀金	
	赤羽根 嘉矩	深志 6回	三郷	
	長崎 大幸	深志 15回	豊科	
	中田 喜夫	深志 20回	三郷	
会 長	北林 明彦	23	堀金	
副 会 長	中槇 卓幸	18	豊科	
	山下 利昭	19	穂高	
	小原 隆男	21	三郷	
	斉藤 正	24	堀金	
	加々美 浩一	24	明科	
	幹 事 長	場々 洋介	24	穂高
副幹事長	藤岡 孝義	25	穂高	
	宮澤 健治	24	堀金	
幹 事	細 萱 美嗣	17	豊科	
	高田 良治	19	明科	
	平林 知	19	穂高	
	曾根原 豊	19	豊科	
	小林 宏	22	穂高	
	松尾 学	22	三郷	
	曾山 健	24	堀金	
	萩原 敦巳	24	豊科	
	会 計	森山 幸一	20	豊科
	監 事	望月 皎三	16	明科
白澤 健夫		19	三郷	

深志同窓会安曇野支部「特別講演会」講師・演題一覧

年 度	講 師		演 題
平成 21 年			
平成 22 年	沢海 明人	卒回 20	安曇野赤十字病院院長 「地域医療と安曇野赤十字病院の役割」
平成 23 年	熊井 英水	6	近畿大学理事・教授 「クロマグロの完全養殖の達成と将来的展望」
平成 24 年	中嶋 嶺雄	7	国際教養大学理事長・ 学長 深志同窓会会長 「グローバル化と日本の大学」
平成 25 年	飯沼 信義	9	桐朋学園大学名誉教授 「作曲家の耳そうじー風景と音楽ー」
平成 26 年	帯刀 益夫	14	東北大学名誉教授 「I P S 細胞とは何か？万能細胞研究の現場」
平成 27 年	青山 織人	15	SKF 松本ボランティア 協会会長 「松本方式ボランティア・ SKFからまつもと歌舞伎へ」
平成 28 年	太田 寛	27	長野県副知事 「地方創生と長野県」
平成 29 年	細萱 安彦	8	極洋捕鯨株式会社 「捕鯨体験談」
平成 30 年	相澤 孝夫	18	相澤病院 最高経営責任者 「安曇野 これからの医療について」
平成 31 年	池口 良明	22	長野県高校野球 OB・OG 連盟会長 「野球に感謝」
令和 2 年	山越 言 中止	40	京都大学大学院アジア・ アフリカ地域研究科 「アフリカで人と森と動物の関係を問い直す」
令和 3 年	山越 言 中止	40	京都大学大学院アジア・ アフリカ地域研究科 「アフリカで人と森と動物の関係を問い直す」
令和 4 年	林 直哉	28	松本深志高校 放送部顧問教師 「周回遅れのトップランナー「深志」を残し、 伝えるために」
令和 5 年	山越 言	40	京都大学大学院アジア・ア フリカ地域研究科 「アフリカで人と森と動物の関係を問い直す」

校歌

松原威雄 作詞
岡野貞一 作曲

そうめいとおきなみのはてくろしおたぎる
 ぜつとうにたてりやまとのあきつしま
 はえのれきしはさんぜんねんそのうるはし
 きなをおへるあきつおの
 こにさかえあれ

校歌

一、蒼溟遠き波の涯

たてり大和の秋津洲

そのうるはしき名を負へる

二、時の流れは強うして

自治を生命の若人は

山河秀でし此の郷に

三、暁こめて鳴り出でし

世の先駆者の名に恥ぢず

移らふ星を数べて

四、朝に仰ぐ槍嶽に

夕筑摩の野を行けば

嗚呼學術の香に集ふ

五、古城空しく苔古りて

清き心のひとすぢに

自治の大旗翻へし

黒潮たぎる絶東に

光栄の歴史は三千年

蜻蛉男児に栄えあれ

この世の旅は長けれど

強き「力」に生くるかな

礎固し我が母校

時代の鐘を身にしめて

心を磨き身を鍛へ

守るも久し深志城

深き真理を探りつゝ

胸に充ちくる想華あり

契りも深き友九百

濁世の波は高けれど

志あるますらはは

前途遙かに望む哉

松原威雄 作詞
岡野貞一 作曲